

関西支部第16回夏季大学受講生募集

新時代の天気予報 — 身近な気象とその予測 —

本年は、理事長の巻頭言にもあったように、「教育と普及」に学会として特に心掛けることとなっています。関西支部の夏季大学も、気象情報に寄せる一般の人々の高度な要望に応えるよう、今日性のあるテーマとそれに相応しい講師陣を選定して開催します。

期 日：1994年7月26日（火）～7月27日（水）

場 所：大阪市天王寺区石ヶ辻町19番12号

ホテルアウイーナ大阪（旧称：なにわ会館）
（3階「葛城（全室）」）

受講料：3,500円（テキスト代を含む）

申込方法：住所・氏名・年齢・勤務先・電話番号を明記し、現金書留または郵便振替で受講料を添えて申し込んでください。受付後、受講票をお送りします。

（郵便振替口座 00980-5-18318

日本気象学会関西支部）

定員 120名（定員に達し次第締め切ります）
テキストのみご希望の方は、代金（1部と郵送料）1,090円を添えてお申し込み下さい。

申込先：〒540 大阪市中央区大手前4丁目1番76号
大阪合同庁舎第4号館
大阪管区気象台内
日本気象学会関西支部
（TEL. 06-949-6323）

申込締切：1994年7月18日（月）

主 催：日本気象学会関西支部

後 援：大阪府教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、滋賀県教育委員会、和歌山県教育委員会、大阪市教育委員会、大阪管区気象台

	10時00分～11時50分	13時00分～14時50分	15時00分～17時00分
7月26日 （火）	「気象庁のデータとその見方」 —きめ細かい天気予報に 必要な観測データ— 饒村 曜 （神戸海洋気象台予報課長）	「天気予報の実際」 —気象庁（国）が行う 天気予報— 保科 正男 （京都地方気象台長）	「暮しに活かす気象情報」 —気象情報を活かす調査の現状— 陳 介臣 （日本気象協会関西本部総務部長）
7月27日 （水）	「身近な気象を探る」 —局地的な風と雨— 森 征洋 （香川大学教育学部教授）	13時30分～15時00分 大阪管区気象台見学 （異常気象等で中止の場合もあります。）	